

報道資料

平成23年12月13日
消費・生活安全課
食品安全推進係
担当：中谷、芳賀
内線：3182・3185
ダイヤル：27-8681

食中毒事件の発生について ～ノロウイルスによる食中毒～

平成23年12月10日（土）午前10時20分頃桜井保健所に、橿原市内の福祉事業所から、「12月9日（金）に磯城郡田原本町内にある仕出し屋に注文した昼食を喫食した18名中7名が下痢、嘔吐及び発熱等の症状を呈しており、医療機関を受診したところ、感染性胃腸炎と診断された。また、同仕出し屋を利用している別の福祉事業所2カ所に確認したところ、2カ所の福祉事業所においても同様の症状を呈した者が複数いる。」旨の届出がありました。

同保健所が調査したところ、12月7日（水）から9日（金）にかけて同仕出し屋から提供された食事を喫食した233名のうち63名が12月8日（木）午後4時を初発として食中毒様症状を呈し、24名が医療機関を受診し、うち1名が入院していることが判明しました。

調査の結果、調理従事者等及び患者のふん便からノロウイルスが検出されたこと、患者の共通食は当該施設以外にないこと及び患者を診察した医師から食中毒患者を診察した旨の届出があったことから、同保健所は当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定し、12月14日（水）から4日間の営業停止を命じました。

なお、患者は全員快方へ向かっています。

発生日時	平成23年12月8日（木）午後4時～
患者関係	患者数：63名 男性：35名（19歳～99歳） 女性：28名（34歳～95歳） 受診者：24名（うち入院者1名）
主症状	患者（63名）の状況 腹痛：29名 吐き気：24名 頭痛：12名 下痢：40名（1～20回） 嘔吐：28名（1～20回） 発熱：17名（37.0℃～38.6℃） ※症状の重複を含みます
原因施設	所在地： 名称： 営業者：（行政処分が終わっていますので、施設情報は削除しています。） 業種：
原因食品	調査中
病因物質	ノロウイルス
検査関係	奈良県保健環境研究センター 患者のふん便：8名（8名からノロウイルス検出） 調理従事者等ふん便：18名（9名からノロウイルス検出）
措置等	行政処分：12月14日（水）～12月17日（土）まで4日間の営業停止 （なお、12月12日（月）～12月13日（火）は営業を自粛しております。） 指導事項：施設の洗浄・消毒 食品等の調理・保管管理の徹底 調理従事者の衛生教育の徹底

メニュー	(12月7日の昼食メニュー)
	①ごはん、味噌汁、カレイ甘酢漬、しゅうまい、じゃがいもの煮物、ポークチャップ
	②ごはん、山菜うどん、山菜そば、切り干し大根の煮物
	③ごはん、赤だし、イワシの蒲焼風、切り干し大根の煮物、ほうれん草の和え物、田舎饅頭
	④ちらしずし、イワシの蒲焼き風、切り干し大根の煮物、ほうれん草の和え物、赤だし、生姜甘酢漬、バレンシアオレンジ、ホワイトケーキ
	(12月7日の夕食メニュー)
	①サケのフライ、キャベツ、イワシ照り焼き、ほうれん草としめじの和え物、漬物、玉子焼き
	(12月8日の昼食メニュー)
	①ごはん、おでん、ほうれん草とえのきのおひたし、鶏むね肉のカレーピカタ、コロケ、味噌汁
	②ごはん、赤飯、すき焼き風煮、里芋の煮物、もやしの胡麻和え、すまし汁、蒸し饅頭、奈良漬、バレンシアオレンジ、ホワイトケーキ
	(12月9日の昼食メニュー)
	①ごはん、焼魚(鯖)、クリームコロケ、ポテトサラダ、田舎煮、鶏肉のカレーレモン煮、味噌汁、和そば
	②ごはん、赤飯、豚肉の南部焼き、じゃがいもの土佐煮、チンゲンサイのじゃこ和え、すまし汁、いちごゼリー、天ぷらの盛り合わせと天つゆ、白桃缶詰、渋皮マロンケーキ
	(12月9日の夕食メニュー)
	①豚生姜焼き、キャベツ、大根の煮物、チキンカツ、白菜の胡麻みそ和え、漬物

◎患者の発生状況

年齢	～20歳	～30歳	～40歳	～50歳	～60歳	～70歳	～80歳	～90歳	～100歳	合計
男性	2 (0)	5 (2)	11 (6)	5 (2)	2 (1)	1 (0)	1 (0)	5 (2)	3 (0)	35 (13)
女性	0 (0)	0 (0)	3 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	6 (2)	6 (2)	11 (5)	28 (11)
計	2 (0)	5 (2)	14 (7)	6 (2)	3 (2)	1 (0)	7 (2)	11 (4)	14 (5)	63 (24)

()内数値は受診者 再掲

参 考

食中毒発生状況 (奈良市を含む)				
本年度 (本件を含まず)	件数 :	5 件	患者数 :	104 名
昨年同時期	件数 :	7 件	患者数 :	71 名
昨 年 度	合計 :	9 件	患者数 :	142 名